

今号の主な内容

- 23／事業計画・収支予算など
- 4／老人福祉大学開講
- 5／中四ブロックリーダー研修会
- 6／県老連女性委員会総会開催
- 7／友愛活動セミナー報告
- 89／県下各クラブの活動紹介
- 10／市町村老連正・副会長会議
- 11／平成30年7月豪雨支援活動
- 1213／会員のひろば
- 14／地域の元気づくり事業



岡山県老連は50周年を機に愛称を『晴ればれシニア岡山』とし、広報紙の名称も変更しました。

第21号

おかやま県老連だより
(通巻90号)
令和元年8月号

矢掛町 旧矢掛本陣石井家住宅 写真提供：岡山県観光連盟



新しい時代「令和」 「いよいよ老人クラブの出番」

岡山県老人クラブ連合会

会長 吉田 建太郎



新しい年号に代わった令和元年度全老連の重点推進策は：

- 一、会員増強への取組み(引き続き推進)
- 二、高齢者の健康づくり、生活支援活動の推進
- 三、高齢消費者被害防止に取り組み「安全」「安心」の地域実現

が示されています。大きくは「会員増強運動」と「生活支援」の二点に要約されるだろうと思います。

第一の会員増強運動は、

昨年度末で五年間の幕を閉じました。会員の懸命の努力も残念ながら報いられて、不本意な結果となってしまいました。

しかし、この運動を通して「リーダーのあり方、養成強化」「地域の絆の有無」等、これからのクラブ活動で大切に活かすことができる大切な事をしっかり学んだことも事実です。

岡山県でも会員減少に歯止めが掛らず、毎年三千人

弱の減少となりました。しかし、各年度毎の減少幅を見ると減少傾向となり、運動の成果があったと考えております。本年度は運動の総括を行い、老人クラブの意義や有用性への理解を深め、健康づくり、介護予防活動や友愛活動など、具体的な活動を通して会員増強の取組みを推進していきたいと考えております。

会員を増やすことは組織強化の基本的事業であり、これからの引き続き推進していきたいと考えております。

第二の生活支援活動につ

いて、今我が国が抱える最大の課題は目前に迫りくる「超高齢社会」です。既に二〇二五年、二〇四〇年問題として大きくクローズアップされている事実もあります。国は、これに対応してその諸策（介護保健法の改正、新地域支援事業の推進、高齢者の社会参加の推進、全世代型社会保障制度の検討等）を講じており、その成果は未知数であり、難題があることも想定

されます。

この高齢者社会は私達高齢者自身の大きな課題でもあり、この国の諸策の全ての中で老人クラブが果たさなければならぬ役割が数多くあります。その一つが高齢者の健康づくり、生活支援活動の推進です。老人クラブではこれまでの健康活動、友愛活動、奉仕活動の実績を活かし、その推進に大いに力を発揮していかねばならないと考えております。

この様に、これからの老人クラブの活動の重点は「健康づくり」「生きがいづくり」から「地域づくり」「生活支援」にシフトされる傾向が伺えます。

絆を深める

さて、高齢者にとって誰もが描く夢は「住み慣れたまちで、いつまでも「元気」で「笑顔」で住み続けられるまち」の実現です。その実現の為に「ご近所の絆」「地域の絆」の回復が最優先ではないかと思っております。その為に老人クラブ

で出来る事は、ご近所を基盤とした「ご近所の絆」です。高齢者が家の外に出て顔を合わせ、会話の出来る集まりの場づくり（小さいサロン）の積極推進が急がれます。例えば「お茶を飲んで会話する」「皆と一緒に体操する」「皆と一緒に食事する」等があります。

又、市町村を基盤とした「地域の絆」を深めることも重要です。行政、各種団体と連携していろいろな「行事」「イベント」「〇の会」等企画し、催すことで高齢者の社会参加を促し、会話することで絆が深まり、期待出来ます。この「ご近所の絆」「地域の絆」を深めることこそ私達の夢の実現の近道と考えます。

今後「絆」を深める活動の推進は「魅力ある老人クラブの確立」「会員増強」の実現を約束する鍵となることを確信しております。推進・協力を宜しくお願い致します。

平成31年度
事業計画・収支予算決まる

平成31年3月14日（木）、
きらめきプラザにおいて開
催された理事会・評議員会
において、岡山県老連の平
成31年度事業計画と収支予
算が承認されました。

平成31年度
事業計画概要

◆重点目標

1 仲間を広げる加入促進運
動の推進と魅力あるクラ
ブづくり

「単位クラブ年間1名純
増運動」、魅力あるクラ
ブづくりの推進

2 会員の生活を豊かにする
取り組み
新地域支援事業への積極
的な参加、健康づくり・

介護予防活動等の推進
3 地域を豊かにする取り組
み

友愛活動、次世代育成支
援事業、平成30年7月豪
雨災害復興支援事業等の
実施

◆事業計画

1 第44次岡山県老人福祉大

学の開催

会場

岡山 倉敷（2回）

津山 高梁

受講生募集

1、430名

テーマ

◇生きがいづくり

◇雑学

◇健康づくり

◇運動と健康

◇漫談

2 健康づくり推進委員会の
開催（年1回）

3 健康づくり・介護予防事
業

・事業報告会の開催（年
1回）

・全老連高齢者の健康づ
くり・生活支援セミ
ナーへの派遣

・地域の元気づくり事業
（健康・介護）10箇所
1箇所あたり10万円以
内

4 地区別スポーツ大会の開
催

実施地区

備前 備中 美作

1 地域 17万円以内で
2 種目まで（1種目に
付き7万円以上）

5 次世代育成支援事業

・次世代育成支援リー
ダー養成講習会の開催
（年1回開催）

・地域の元気づくり事業
（次世代育成） 10箇所
1箇所あたり10万円以
内

6 在宅福祉を支える友愛活
動

・全老連高齢者の健康づ
くり・生活支援セミ
ナーへの派遣

・地域の元気づくり事業
（友愛活動） 5箇所
1箇所あたり10万円以
内

7 高齢者の安全・安心を支
える活動

・高齢者の交通安全対策
・特殊詐欺・悪質商法な
ど防犯安全対策

8 災害復興支援事業

・災害復興記録の作成
・災害復興関連事業の実施

9 老人クラブ指導者の育成

・高齢者地域リーダー研
修会の開催

会場

5 会場（岡山、倉敷、
津山、高梁、美作）

・第48回全国老人クラブ

大会派遣（埼玉県さい
たま市11月26日・27日）

・地区別女性リーダー研
修会の開催

実施地区

備前、備中、美作

1 地区7万円以内

・全老連高齢者の健康づ
くり・生活支援セミ
ナーへの派遣

10 第56回岡山県老人クラブ
大会の開催（岡山県総合
社会福祉大会）

第1部 岡山県知事表
彰・保健福祉部長表彰・
県老連会長表彰

第2部 講演

11 会員加入促進事業

・会員加入促進委員会の
開催（若手委員会と合
同開催）

・「単位クラブ年間1名
純増運動」の推進

・会員加入促進モデル単
位クラブ表彰

12 表彰

・全老連会長表彰（育成
功労・優良クラブ等）

・活動賞（健康づくり・
ボランティア・その他）

13 広報活動

広報紙「晴ればれシニア



岡山」年2回各5万部発
行

14 調査研究

市町村老連便覧の作成

15 市町村老連正・副会長
議

「岡山いこいの村」
年1回

16 中国・四国ブロック老人
クラブリーダー研修会
（高知県高知市）

17 市町村老連事務担当者会
議（年1回）

18 法人運営・管理（評議員
会、理事会、監査会）

19 その他

収支予算

（円グラフのとおり）

評議員					監事	理事		
美作	備中	備前			全県	美作		地区
鏡野町	早島町	吉備中央町	和気町	備前市	岡山市	鏡野町	真庭市	市町村
理事	会長	副会長	副会長	副会長	―	理事	副会長	市町村に おける役職
定久正義	藪木 伸一	上田萬壽男	行正 健志	松本 和好	平松 卓雄	藤本 信男	綱島 正志	氏 名
藤本 信男	薦田紀久男	土井二六敏	頼正 康生	寺見 史朗	滝川 誠一	安藤 美雄	田中 仁志	前任者

6月14日（金）に開催された定時評議員会において、前任者の辞任に伴い関係市町村老連から推薦

のあった方々がそれぞれ理事・評議員として承認されました。また、全県より選出の監事についても、前任

者の辞任に伴い会長が新たに推薦の方が承認されました。左の表のとおりです。

岡山県走連 新理事・監事
及び評議員の選任について

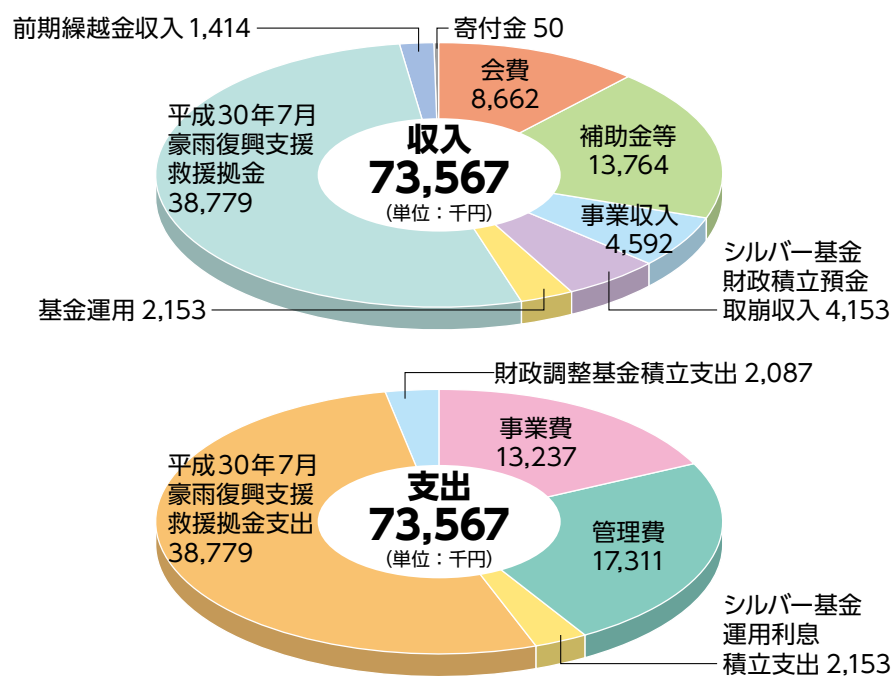
令和元年5月28日（火）、
きらめきプラザにおいて開
催された岡山県老連令和
元年度第1回理事会におい
て、「平成30年度事業報告
及び収支決算」が承認され
ました。また、6月14日

(金)、きらめきプラザにおいて開催された定時評議員会でも、この事業報告及び収支決算が承認されました。決算額については円ゲラフのとおりです。

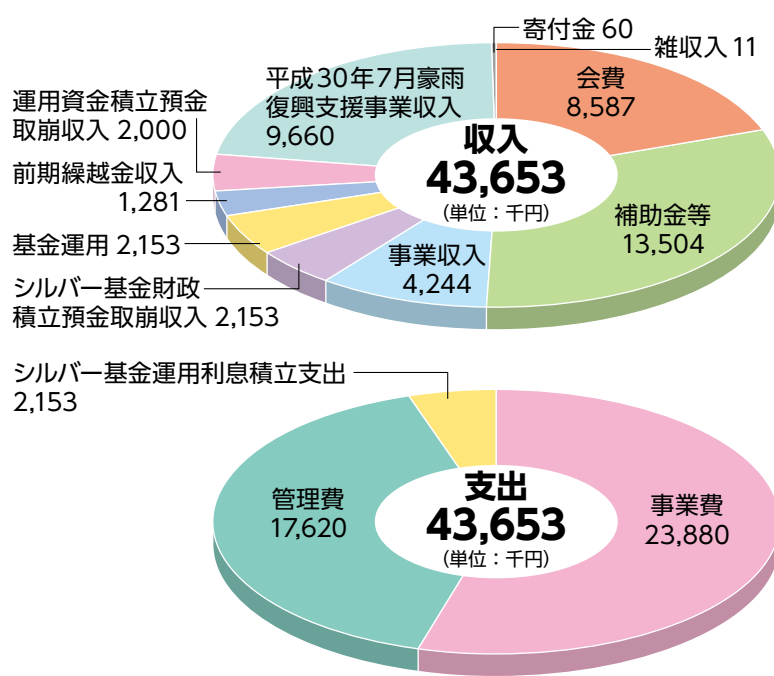


平成30年度事業報告・
決算承認される

■ 平成 30 年度決算報告 ■



■ 平成 31 年度予算 ■



令和元年度

老人福祉大学

開講

元号が平成から令和となつて最初の老人福祉大学が始まりました。

第44次となる老人福祉大学で、岡山市老連と共催での開催です。受講申込者数は1,227名で、昨年度を42名上回る申し込みをいただきました。感謝申し上げます。会場については、昨年度と同様に岡山、倉敷、津山、高梁の各会場で、倉敷会場は申込者数の関係で①、②と2回に分けて実施することとしています。

6月からの開講で、初回は倉敷①でした。続いて倉敷②、岡山、津山、高梁会場の順に6月は予定どおり開講できました。
開催地の老連の皆様、本年も受付、会場設営等々これからもご協力をお願いいたします。

今年度の講義のテーマは次のとおりです。

●生きがいづくり

「ハートが若返る『有乃佳の元気講座』
〈自分で作る自分の元気〉
音とことば（音楽浴）」
みゆーじつくらいふ琴友夢
代表 松村 有乃佳 氏

●老後の雑学

「岡山弁再発見！」
岡山弁協会
会長 青山 融 氏

●健康づくり

「健康長寿＋10年」
社会医療法人 盛全会
理事長 小林 直哉 氏

●運動と健康

「人生100歳時代に向けて、今日から始める健

幸運動

日本健康運動指導士会
岡山県支部長
石尾 正紀 氏

●漫談

「二期一笑」
ものまねしようる
サラリーマン
夢小路 あきまる 氏

昨年度は7月豪雨災害の発生により、2会場で日程を延期することとなりました。これから11月まで各会場において順次開催していきますが、本年度は予定どおり開催できることを祈るばかりです。受講者の皆さんは、奨励賞、栄誉賞を目指し頑張つて受講してください。



中国・四国ブロック 老人クラブリーダー研修会に参加して

県老連女性委員長 延原 愛子

開催日 令和元年7月4日（木）
～5日（金）
場 所 高知市 三翠園
参加者数 中国・四国11老連
329名
運営協力者 高知県女性部 23名

という一生の伝説についての講演であった。

1日目
7月4日（木）13:00開会

【開会行事】

【基調報告】

「5カ年の会員増強運動と今後の方向」について

全老連 業務部長

岡本 まゆみ 氏

○老人クラブ100万人会
員増強運動と今後の方向
○老人クラブの仲間づくり
で「健康長寿」を実現

- ・多くの人と交流をする
- ・運動は仲間とする
- ・サロンへの参加をする
- ・笑いのある生活をする
- ・地域組織への参加をする
- ・地域の役割を担って長生きしよう

【事例発表・討議】

「会員増強の推進」について
鳥取県・愛媛県・山口県の
発表

愛媛県は「四国遍路とお接待」と題して、接待という地域の特色を活かし、一期一会の出会いを大事にしている。お接待時の共同作業が大切であるとの事であった。

「地域支え合いと活動の推進」について

岡山市・島根県・広島市の発表

岡山市は青葉団地町内会高齢者部部長 藤恵子氏が発表された。「時代に合う老人クラブを目指して、前向きに！」と題して企業、社会福祉協議会などより、補助金や助成金をいただき、活動の資金とし、スポーツ大会等の開催をする。団地の住人が多く参加し、活動しているとの事であった。

【交流会】

18:00～20:00

「よさこい鳴子踊り」「しばてん踊り」で賑やかに！

次年度は岡山県が当番な

ので、舞台上で顔見世する一場面もあった。

2日目
7月5日（金）8:30

「いきいきクラブ体操」で始まる。

第3部「健康づくり・介護予防活動の推進」について

広島県・徳島県・香川県の発表

会合が始まると同時にクラブ体操をする。スポーツ大会、高齢者交通安全、ふれあいサロン、親睦旅行などで健康維持といった内容であった。

【講演】

「お四国遍路開祖 衛門三郎物語」

真言宗豊山派

四国霊場第三十番奥之院

安樂寺住職

小角 隆幸 氏

拍子木を打ちながらの節付説法で、強欲非道の衛門三郎が弘法大師の四国88カ所遍路をしながら改心する

【総括】

まとめ

高知県老連

会長 鈴木 彬夫 氏

【閉会】

次期開催県あいさつ

岡山県老連

会長 吉田 建太郎 氏

高知県老連へ大会の労いの言葉と昨年の西日本豪雨災害、倉敷市の現状と支援に対するお礼を述べた。また次期開催県として岡山県のアピールをした。

主催者閉会あいさつ

高知県老連 副会長 三宮 尊良 氏

【感想】

今回、岡山県老連より事務局含め12名が参加しました。来年は当番県になります。まず女性委員会では参加者全員に私たちの心のこもった手作り小物でもてなしをしたいと思いますので、ご協力をよろしくお願いします。

県老連女性委員会 第37回総会開催

令和元年6月26日（水）
きらめきプラザにおいて女性委員会第37回総会が開催されました。

開会にあたり、吉田県老連会長、延原女性委員会委員長から挨拶がありました。吉田会長は、令和の時代は高齢者の時代であり、老人クラブの出番だ、会員加入促進などの課題に対し、女性委員会としても格別の協力をお願いしたいと挨拶されました。また、延原委員長からは、これから夏場を迎えるにあたり、経口補水液の作り方を紹介され、健康に留意しながら全員の力を合わせて女性委員会活動に頑張る取り組みをしようとの力強い話がありました。

備前地区	新幹事	前任者
備前市 有吉 幸子	備前市 金藤 節子	

（任期は前任者の残任期間）

令和元年度女性委員会活動計画概要

★総会

年2回開催（6月、2月）

★幹事会

年1回開催

（9月13日（金）予定）

★主な事業

1. 地区別女性リーダー研修会

備前、備中、美作の3地区で実施する。開催日、研修内容は各地区で協議し、9月27日（金）までに申請書を県老連に提出する。

2. 高齢者地域リーダー研修会

積極的に参加する。

開催場所…岡山、倉敷、津山、高梁、美作

開催時期…7月下旬～10月上旬

3. 会員加入促進運動の推進

行政、社協、町内会に協力・支援を要請するとともに女性パワーを発揮して会員増強につなげる。

4. 次世代育成支援リーダー養成講習会

女性委員会を中心とした女性組織の活性化の取り組みとして、高齢者が

これまでに培ってきた経験や知識、生活文化（昔遊び）等を通じて子育て支援活動を行うため、次世代育成支援リーダーの養成を行う。（来年3月予定）
講師等は事務局に一任された。

5. 全老連高齢者の健康づくり・生活支援セミナーへの参加

開催時期：12月12日（木）～13日（金）

開催場所…東京都・全社協灘尾ホール

参加者…延原委員長、香川副委員長

6. 令和2年度中国・四国ブロック老人クラブリーダー研修会における小物づくり

来年度、岡山県老連がこの研修会の当番であり、女性委員会として参加者への記念品づくりについて協議。9月に開催する幹事会において記念品の内容を詰めることになる。



「在宅福祉を支える友愛活動」セミナー



岡山市老連
奥岩 純治

岡山県老連
太田 聖眼

岡山県老連
岡田 捷夫

「在宅福祉を支える 友愛活動セミナー」 に参加して

高梁市老人クラブ連合会
井原市老人クラブ連合会

太田 聖眼
岡田 捷夫

「地域包括ケアシステムの推進」について急速に進む少子高齢化社会のなかにあつて、高齢者を支える人口の減少等が大きな社会問題となっています。

そうしたなかで、これまで行政が主体となつて計画し、福祉や医療の専門職が主導的な立場で行つていた「地域包括ケアシステム」でありましたが、今後は、住民が主体的に関わつていかなければ真の意味での「地域包括ケアシステム」は実現できないという認識に転換しつつあります。その担い手の多くは高齢者であり、そのためには、高齢者の社会参加と地域社会に於ける支え合いの体制作りをしなくてはなりません。

●行政説明

■第1日目

「高齢者関連施策と老人クラブへの期待」
厚生労働省老健局振興課
課長補佐 内山 徹 氏

開催日
平成31年1月30日（水）
～31日（木）
会場
東京都全社協会議室
参加者数 83名

そして、それができるのは高齢者が組織として活動できる老人クラブであつて、期待するところが大きい、とのお話でした。

●基調報告

「新地域支援事業」と「老人クラブがめざす友愛活動」について

全国老人クラブ連合会
事務局長 谷野 香氏

セミナーのねらいについての説明を通して、友愛活動推進のためにリーダーとしての自覚を求め、これからの友愛活動について次の5つの支援が示されました。

①生活支援 ②通いの場づくり ③見守り支援 ④健康づくり支援 ⑤情報伝達支援の5つです。その後、それぞれの地域での取り組みなども紹介されました。

■第2日目

●分散会

約1時間、グループに分かれて主題にそつてそれぞれの地域での取り組みについて話し合いました。本音の部分も出て楽しい時間となりましたが、結論はここに集う私たちが、リーダー

としての自覚をもつて地域づくりに加わっていくことであると確認しました。

●講演

「地域支え合いにおける老人クラブへの期待」
神奈川県立保健福祉大学
顧問 山崎 美貴子 氏

これからの地域共生社会に向けて、老人クラブの今後の活動を活かして、強い地域社会を構築して欲しい、とのお話でした。

＜セミナーに参加して＞

このセミナーを通して今後の老人クラブ活動のある意味での方向性を示唆されたと感じました。とても勉強になりました。ありがとうございました。



吉備中央町

変化していける団体として

吉備中央町老人クラブ連合会 事務局 仁枝 愛美

吉備中央町老人クラブ連合会の委員会の一つに、女性委員会があります。委員会は町内各地区からの代表者の女性10名で構成されています。委員会活動は年5回行っています。

今までは室内で手芸を行うことが多くありましたが、近年は場所や内容を工夫し、様々な活動を行うようになりました。

吉備中央町は山間部で面積が広く移動も大変なことから、同じ町内でも行ったことがない場所・知らないことが多くあります。そこで、女性委員会では、積極的に外へ出て町内で頑張っている団体を訪問し、見学・体験を行うようになりました。

例1) 公民館活動に参加

町内の各公民館では、それぞれ公民館活動が行われています。参加者の地域が限定・固定化されてきている公民館活動に町内各地から来た女性委員が参加することで、他地域の人と交流でき新たな出会いや、老人クラブ会員の獲得にも役立っています。

例2) 地域活性化を進める地域を見学

吉備中央町はどの地域でも高齢化・過疎化が大きな悩みとなっています。同じ悩みを持ち、その解消に向けて積極的に活動している団体を見学することで、運営の方法や求められている活動、自分の地域でもできることを学ぶことができました。

例3) 新しくできた施設を訪問

いち早く施設を見学することで、知らない場所へ行くことの抵抗を少なくすることができていると感じます。

「ここはとても良かったから、次はクラブで来るわ」

と次の活動へも繋がっています。

この取り組みにより町の新たな魅力の発見ができ、自分の住む地域に様々な知識を持ち帰ることができます。今後も地域を担う団体の一つとして、時代や需要に合わせて変化をしていきたいと考えています。



真庭市老人クラブ連合会 川上支部

ながらも、肝心な作業は真剣に取り組んでいます。

もう1回の料理教室は、栄養委員さんの手伝いをいただきながら色々な料理に挑戦します。

平成30年度は、食後にアトラクションの「昔べっぴん一座」による歌謡ショーを観覧し、歌ったり、笑ったりと1日楽しくすごしました。

少子高齢化時代に入り男性の一人暮らしも増えている現状がある中、このような事業は増々必要となってくると思います。

老人クラブの事業では、スポーツ大会が人気で参加者も多いのですが、順位を競うスポーツとは違い、協力して調理した料理を囲み食事をすると、話はずみ良い親睦になっています。





総社市

老化防止と認知症予防のために出来ることは

総社市老人クラブ連合会（いきいきシニア総社）では、女性委員会が主体となって講座や研修会を企画しています。年に3回、「ディスコン」「小物作り」「レクリエーション」の講座、年度の最後には研修会を開催します。女性委員会が主催ですが、もちろん男性の方の参加也大歓迎です。最近では、男性の参加も増えてきて毎回楽しく過ごしています。

平成30年度は、「小物作り」に、「指編みマフラー作り」を「レクリエーション」では、地元のボランティアグループに講師をお願いし、「傘踊り・銭太鼓体験」を企画しました。

初めての企画内容もあり、充実した講座となりました。毎年、内容には四苦八苦していますが、皆さん講座を楽しみに毎回50名少々の参加があり、初対面でも和気あいあいとにぎやかな時間を過ごしています。

総社市老人クラブ連合会 女性委員会 委員長 徳永 たま江

3月の研修会では、毎回、著名な方に来ていただき、タメになる話を聞いて勉強しています。平成30年度最後の締めくくりでは、桃太郎のからくり博物館の館長住宅正人さんに来ていただき、ちくわから出る素晴らしい音色を聞かせてもらいました。ちくわから音を出すって難しいですね。この研修会では、毎年100名を超える参加者が集うので、女性委員会の中では一大行事となっています。

女性が集まればにぎやかで楽しく、笑い声が絶えません。講座や研修会に参加し、地元を持ち帰って会員の皆さんに広めていただき、楽しんでもらえると女性委員会として企画した甲斐があります。これからも楽しくタメになる講座や研修会を企画し、地元を広めていきます。「女性委員会って楽しいことがいっぱいあるんじゃないかな〜」

真庭市

料理教室



川上支部は、真庭市の北部に位置し、9単位クラブが所属する連合会です。

本会では、年間2回の料理教室を開催しています。

その内の1回は、会員がとても楽しみにしている「そば打ち教室」です。地内の「蒜山高原味覚工房そばの館」に講師を依頼し、指導を受け実施しています。

そば粉を練るところから始め、出来上がったそばをその場で茹がし試食します。付け合わせの料理は、天ぷらを作りいただきます。

初回から数年は、男性会員対象として開催していましたが、女性からも参加希望の声が募り、現在は、男女問わず集まって、賑やか



平成30年度

市町村老連 正・副会長会議

2019. 2. 14

平成30年度市町村老連

正・副会長会議が平成31年
2月14日（木）～15日（金）
に瀬戸内市邑久町虫明の
「岡山いこいの村」で開催
されました。

参加市町村老連は本年度
も21老連で、全市町村老連
の参加とはなりません。し
たが、参加数は総勢67名で、
にぎやかな宿泊研修となり
ました。

県老連吉田会長のあいさ
つで開会。吉田会長は、平
成30年7月豪雨災害救援拠
金への協力のお礼と、これ
からの大きな課題として会
員増強運動の継続と豪雨災
害被災者の支援を上げ、引
き続きの協力をお願いされ
ました。

行政説明、グループ討議、
講演、懇親会等を通じて、
意見・情報交換や懇親が大
いに図られ有意義な研修と
なりました。

第1日目

〈12時00分〉
受付

〈13時00分〉
開会

挨拶 県老連 吉田会長

〈13時20分〉
行政説明

「岡山県の高齢者施策に
ついて」

岡山県長寿社会課

坂本総括副参事

岡山県の高齢化の状
況、認知症の現状及び来
年度の当初予算要求など
について説明がありまし
た。また同課の支援員お
二人も参加してくださ
り、虚弱状態を防止する
ための体操について、実
技を交えお話ししていだ
きました。

〈14時30分〉
講演①

「高齢者の特殊詐欺被害
防止について」

岡山県警察本部
生活安全部

犯罪抑止対策室長

橋野 正明 氏

「高齢者の交通事故防止
について」

岡山県警察本部 交通部
交通企画課 課長補佐

大場 優香 氏

高齢者が特殊詐欺や交
通事故にあわないための
方策などについて、分か
りやすく説明していただ
きました。

〈15時45分〉
グループ討議

テーマ「2万5千人会員

増強運動の結果と今後の
取り組みについて」

「未設置や解散地域への新
設クラブ設立について」

平成30年度が2万5千
人会員増強運動の最終年



露していただきました。
宴も盛り上がったところ
でしたが、時間により県
老連安田副会長のあいさ
つにより中締めとなりま
した。

第2日目

〈8時30分〉
老人クラブの唱歌唱、

県老連延原副会長の指導
によるいきいきクラブ体
操で元気に2日目が始
まりました。

〈8時40分〉
事業説明

平成31年度事業方針・
重点目標・事業計画と
2万5千人会員増強運
動等について事務局から
説明

〈9時50分〉
講演②

「高齢者の生活に影響す
ること」

「制度・認知症・薬等の
最近の話題」

岡山県薬剤師会

会長 堀部 徹 氏

これからの高齢社会の
人口構成、県内市町村の
高齢化率・介護保険料の
状況等のほか、認知症予
防のために気を付ける生
活障害や軽度認知障害の
症状の具体例、服用して
いる薬の数と副作用の発

生割合、服用のタイミン
グなどについて、楽しく
分かりやすく話をしてい
ただきました。

〈11時00分〉
全体会

①グループ討議の報告

前日のグループ討議の
結果について3グルー
プの代表から報告してい
ただきました。

②全体討議・質疑

最後に全体討議・質疑
応答を行いました。

〈12時00分〉
閉会

県老連高橋副会長のあ
いさつで2日間の日程を
無事に終了し散会しまし
た。
参加者の皆様ご苦勞様
でした。



県 外の仲間からいただいた救援拠金等についてお知らせします。

平成30年7月の豪雨災害で被災された高齢者や老人クラブを支援するため、県老連では、県内の各市町村老連に救援拠金への協力を願うとともに、全老連のご支援、ご協力によりホームページに拠金窓口を設置している旨、掲載していただきました。

それを契機に県外の仲間の皆様から救援拠金が寄せられ、最終的に3、876万9、842円となりました。この救援拠金について、県老連では平成31年3月開催の理事会・評議員会に諮り、県老連が実施する災害復興支援事業に一部活用するとともに、被害状況に応じて次のとおり9市町老連に配分することとしました。伝達に際し、各老連には復興支援に有効に活用していただくようお願いしたところです。

また県外からは、被災直後、暑さに負けないようにと「元氣うちわ」も送っていただきました。避難所を設けていた倉敷市、総社市、高梁市の各老連に配布させていただきましたので併せてご紹介しておきます。



県外からの 救援拠金の配分	
老連名等	配分額(円)
倉敷市老連	23,421,196
津山市老連	264,026
笠岡市老連	567,351
井原市老連	439,268
総社市老連	2,323,839
高梁市老連	1,033,108
新見市老連	137,398
真庭市老連	135,070
矢掛町老連	788,586
県老連	9,660,000

平成30年7月豪雨災害救援拠金 ～県外からの心温まる救援拠金について～

西日本豪雨倉敷市真備地区介護施設の慰問 倉敷市真備町「真備ぶどうの家ブランチ」

平成31年4月13日(土) 赤磐市老人クラブ連合会 会長 繁定 健三

平 成30年7月西日本豪雨で被災された真備地区の皆様、ほんの一時でも安らぎを感じていただけたらと、私たち赤磐市老連会員及び赤磐市内で活躍のハワイアンバンドの皆さんとフラダンスチームで「真備ぶどうの家ブランチ」へ慰問に伺いました。

慰問先の「真備ぶどうの家ブランチ」代表の津田由起子さんは、岡山県介護施設創設の草分けで著名な方です。赤磐市老連ではシニア大学講座の講演を7月西日本豪雨以前にお願いしていましたが、被災後間もないにもかかわらず9月20日にご来演いただきました。

講演の中では被災当時の様子と現況もお話しされました。周囲の方々から、「あまりに被害が甚大なので再建は難しいのではないか」と言われたそうですが、津田さんの信念として「この施設の再建を待っている利用者の方のためには是非とも再建する」と言われた言葉が今も私の心に残っています。

慰問日当日、赤磐市を出発、総社市を経由して川辺橋を渡り、倉敷市真備町に入りました。被災当時の膨大な道路周辺のゴミなどは整理されていましたが、被災建物の空き家が目立ち、被害の大きさを改めて感じ

ました。

会場の「真備ぶどうの家ブランチ」では、津田代表から被災当時の建物の状況を聞き、想像を絶する被害に言葉を失いました。

その後、ご来場いただいた皆さんには、心地よいハワイアン演奏のメロディーに合わせ笑顔で優雅に踊るフラダンスに一時の安らぎを感じていただけたかと思っています。最後には皆さんとともにフラダンスを踊りフィナーレとなりました。

なお今回の慰問については、倉敷市老連安田会長、地元真備地区老連の野田会長、県老連、杉事務局長各位に大変お世話になり、厚く御礼を申し上げます。





投稿文

岡山県から
部落差別を
解消しよう和気町老人クラブ連合会
事務局長 宇高 淳二

私達老人クラブのメインテーマは「のぼそう！健康寿命、担おう！地域づくりを」です。まず健康が第一です。私は人一倍健康で元気な体を生んで育ててくれた親に毎日感謝をしています。また、家族の支援があってバランスの取れた食事を頂いています。それからは自分の努力だと思えます。私は若い時からスポーツが好きで60歳からシニア

ソフトボール部（烏城クラブ）に入り、ねんりんピク等の全国大会に何度も出場しました。健康で元気だからできたのであり、ソフトボールをするから健康で元気だったとも思っています。和気町の老人クラブの会員は3,000人足らずですが、私は全員が健康で元気な老人になって欲しいと願って活動しています。

次に地域づくりですが、生まれ育った地域で今日も楽しかったなあと最期まで元気で過ごせるような地域になるように元気な老人が支援する、そのためには部落差別の解消です。私は今まで人権研修会に参加してきましたが本気ではありませんでした。地区とか和気町主催の研修にはほとんど参加したつもりです。いつの場合も、女性差別や障害者差別及び部落差別の解消に関する事でも、多数の講師の講演や、映画を観て勉強になったように思っていました。でも、和気町は人権のことはよくやる、いい加減にしてほしいと思っていました。

しかし、昨年の10月27日「第500回記念三者交流同和教育研修会」で近畿大学の奥田均先生の部落差別解消推進法についての講演を聞き、やっと気が付きました。

その第一条に「部落差別の解消を推進し、もって部落差別のない社会を実現することを目的とする」とあります。部落に生まれたから部落差別を受けるのではなく、差別する人がいるから差別があるのです。しかし「宿命論」という誤解は、部落の当事者に「一生差別からのがれることはできない」という絶望を与え、自分を部落に産んだ親を恨み自尊心を傷つけてきました。

部落差別で一番深刻なこととは結婚差別であると思われます。若年者層は学習をし、我々高齢者より理解しているように感じます。

従って、子ども、孫たちが結婚するときには老人は「金を出しても口を出すな」。口を出すのなら例えば部落の人とはダメだというのではなく、良かったなあと応援することが重要だと思います。

今、安倍総理とプーチン大統領が「日露間の平和条約、北方四島の返還」で今解決しないと誰がやるというように交渉を続けています。部落差別の解消も我々老人クラブ員が今やらないと誰がやるのでしょうか。子供、孫には先送りできないのです。これからは実践です。

勇気をもって地域に貢献できるよう頑張りましょう。

絵手紙

津山市
内田 美智子岡山市
小倉 光子

皆様の作品を募集します

応募締切日／令和元年10月31日（木）

岡山県老人クラブ連合会では令和2年1月に発行する「晴ればシニア岡山第22号」に掲載する皆様の作品を次の通り募集いたします。

- 俳句
- 川柳
- 短歌
- 絵手紙
- 投稿文（身近な出来事、趣味などについて）

※投稿は未発表のものをお一人1点でお願いします。
※クラブ名・氏名・住所・電話番号を必ずご記入ください。
※編集にあたり、文章の若干の添削をすること、また応募数が多数の場合は事務局により選考させていただく場合があることをご了承ください。

【応募先】

〒700-0807 岡山市北区南方2-13-1 きらめきプラザ内
岡山県老人クラブ連合会 晴ればシニア岡山 作品募集係

私たちは岡山県老人クラブ連合会の活動を応援しています。

川柳

わが足にご機嫌うかがう散歩かな

岡山市 青江鶴亀会 小松原 寛子

お食事に誘われ褒めて払わされ

岡山市 高島駅前町老人クラブ 高橋 広

とじこもり将棋サロンでともと成り

岡山市 住吉町むつみ会 籠手 二千六百

強がって自慢してたら風邪を引く

倉敷市 児老連女性委員会 山本 光子

アポ電にかからぬ知恵を日々きたえ

倉敷市 児老連女性委員会 国安 富子

雑草を抜く手を止めた白い花

倉敷市 児老連女性委員会 中野 満江

今日はまだ覚えてるか帰り道

倉敷市 児老連女性委員会 三宅 春美

孫息子誓う言葉の頼もしさ

倉敷市 児老連女性委員会 近藤 時子

風向きが悪くなったら話題変え

倉敷市 児老連女性委員会 板谷 登美江

ユリの花歩く姿を思うかな

倉敷市 児老連女性委員会 奥井 恵美子

優先席座っているのは高校生

倉敷市 児老連女性委員会 中塚 徳恵

入歯見て僕も取ってとせがむ孫

倉敷市 児老連女性委員会 植野 明美

ニセ電話老後の資金持つて行く

倉敷市 児老連女性委員会 山本 優子

上天氣グラントゴルフ頑張ろう

倉敷市 小溝絆会 大橋 八十子

赤へりを降りし数歩で膝崩る

倉敷市 四十瀬招寿会 内藤 靖

老いてなお趣味を色々ぼけ防止

真庭市 長尾 道子

生きている証し今日も医者へ行く

矢掛町 中川福寿会 高月 しげ子

短歌

真夏日に動く空氣の緑陰に草刈し吾とみに涼しも

岡山市 深井 勝己

そよそよと香りを乗せて風渡る 時おり桃のふくらみ見せて

笠岡市 富岡寿康会 小野 美那子

句作りと野菜作りはよく似てる 土塊つちくれ句う自然のポエム

津山市 今津 茂

俳句

かげろふに踏み込みすぎて橋渡る

岡山市 和風会 國定 義明

薰風が空の青さに宿をとり

津山市 ほほえみ会クラブ 森 康子

適応は良き処世術更衣

津山市 古林田町内会悠々会 妹尾 武志

情報交差点

平成31年度
「地域の元気づくり事業」実施地区決定

地域の元気づくり事業は、県老連の事業の中でも重要な事業であり、不特定多数の者の利益増進を目的とする公益目的事業に位置づけられています。この事業をできるだけ多くの老連で活用していただくため、実施できる事業種目もできるだけ幅広くし、多様な市町村老連の要望に対応できるようにしております。しかし、公益を目的としております我財団には特に公平性、透明性が求められています。そのために各市町村老連からの要望を取りまとめ、外部委員を中心に構成されている「健康づくり推進委員会」に諮り、事業の妥当性、事業効果等について協議をい

ただき、承認を得る必要があります。すべての事業はこの委員会をクリアする必要があるので、事業主体の皆様には経費の使い道などにつき多少厳しいお願いをしているかもしれません。これも国や地方公共団体からの補助金が含まれているため、経費使途については厳重にする必要があるためです。ご理解を賜りますようお願いいたします。
年度末には、令和2年度の実施希望を募りますので今から準備をされ、奮ってご応募ください。

■平成31年度 地域の元気づくり事業（健康づくり・次世代育成・シルバー）事業費内訳 (単位：円)

	市町村	実施団体	健康づくり	次世代	シルバー	小計
1	岡山市	富吉桃源クラブ			40,000	40,000
2	倉敷市	水島地区老人クラブ連合会（神亀学区）	100,000			100,000
3		倉敷地区老人クラブ連合会（老松学区）		50,000		50,000
4	津山市	津山市老人クラブ連合会（城東地区）		100,000		100,000
5		津山市老人クラブ連合会			100,000	100,000
6	井原市	木之子東慎思クラブ	100,000			100,000
7	総社市	総社市老人クラブ連合会	30,000			30,000
8	高梁市	鶴鳴東長寿クラブ			100,000	100,000
9		有漢地域老人クラブ			100,000	100,000
10	瀬戸内市	瀬戸内市老人クラブ連合会	100,000			100,000
11		瀬戸内市老人クラブ連合会		100,000		100,000
12	備前市	東鶴山老人クラブ鶴寿会			100,000	100,000
13	真庭市	真庭市老人クラブ連合会（北房支部）			100,000	100,000
14	和気町	和気町老人クラブ連合会	100,000			100,000
15	早島町	若宮 OB クラブ	90,000			90,000
16	鏡野町	鏡野町老人クラブ連合会		100,000		100,000
17	西栗倉村	西栗倉村老人クラブ連合会		90,000		90,000
	合計		520,000	440,000	540,000	1,500,000

岡山県警察 暮らしの安全情報

特殊詐欺電話から、財産を守る若
「防犯機能付き電話」！【推奨】

なぜ、電話？→犯人は、電話で、だまします！



データ 特殊詐欺被害 27件（5月末）
→ 犯人使用ツール
・固定電話 12件（44%）
うち、高齢者被害12件（100%）

被害防止のために、下記機能のある「防犯機能付き電話」が有効！

① 留守番電話

- 電話に出ると、言葉巧みな犯人にだまされます。
- 留守番電話にして、相手を確認してから電話に出ましょう！

② 自動録音・警告機能

- 「自動録音します」の警告で、悪者を退治！

③ 着信拒否設定

- 「電話に出ない」ことが、被害防止には最も効果的！
- 電話帳に登録している人だけ、電話に出れば安心です！



自分の運転、
見直してみませんか？

あなたの運転をドライブレコーダーで録画、
映像を使用して個別指導を行っています!!

- ドライブレコーダーは警察署で貸し出します
- 取り付け、取り外しは警察官が行います
- 後日、専門の指導員がきめ細かに個別指導
- 個別指導による処罰や処分はありません！



個別指導の様子

【対象の方は…】

- 70歳以上の高齢ドライバーで
- 交通事故を起こされた方
 - 運転に不安を感じている方
 - ご家族が指導を希望する方
 - 指導が必要とお考えの方

お気軽にご相談を!!

【お問い合わせ先】

最寄りの警察署の交通課または
警察本部交通企画課（086）234-0110まで



老人クラブ会員向けに 傷害保険・賠償責任保険で安心補償

2019年10月改定

傷 害 保 険 〈掛金・補償内容〉

自分がケガをした時の保険です。病気および他人に与えたケガは対象外です。

- ①対 象：老人クラブ会員に限ります。1人1口加入で年齢制限はありません。
加入手続きは所属の老人クラブの保険担当者が取りまとめる団体保険です。

②保険加入月
および保険期間

保険加入月（年2回のみ）	保険期間	申込及び掛金払込期間
2019年10月加入の場合	2019年10月1日午後4時から1年間	2019年7月1日～9月15日まで
2020年4月加入の場合	2020年4月1日午後4時から1年間	2020年1月1日～3月15日まで

- ③掛金払込の条件：申込みの人数に関わらず1回の払込につき掛金総額3,000円以上（追加の場合も同様）
※払込手数料は申込者負担

- ④補償範囲・掛金タイプ：「24時間型：4タイプ」・「活動型：2タイプ」の6タイプから1人1つ選択してください。
複数口加入はできません。

⑤掛金・補償内容

【補償額】上段：活動中のケガの補償額
下段：（活動中以外）のケガの補償額

タイプ		24時間型				活 動 型	
		クラブ活動中（往復途上（注1）を含む）・クラブ活動中以外を問わず日常生活全般（24時間）のケガを補償します。				クラブ活動中（往復途上（注1）を含む）のケガを補償します。	
補償内容	年間掛金	新 12,000円	新 8,000円	5,000円	3,500円	1,000円	500円
死亡保険金		344万円 （174万円）	217万円 （132万円）	210万円 （125万円）	137万円 （92万円）	85万円 （－）	45万円 （－）
後遺障害保険金（注2）		170万円 （－）	85万円 （－）	85万円 （－）	45万円 （－）	85万円 （－）	45万円 （－）
入院保険金日額（注3） 1事故につき30日限度		6,400円 （2,400円）	3,450円 （1,450円）	3,250円 （1,250円）	1,950円 （950円）	2,000円 （－）	1,000円 （－）
通院保険金日額 1事故につき30日限度		4,100円 （1,500円）	2,250円 （950円）	2,100円 （800円）	1,250円 （600円）	1,300円 （－）	650円 （－）
新 個人賠償責任補償 （自転車事故も含む）		1億円 （老人クラブ会員の同居の親族を含む）	1億円	【クラブ活動中とは】 ①「所属する単位クラブが予め計画・実施する活動」および②「市区町村（地区・校区）から全国までの各連合会が主催する活動イベント」ならびに③「老人クラブ関係者として他団体の活動」への参加・往復途上を含みます。 事故証明者：単位クラブ関係者、参加した主催老連関係者			
新 地震・噴火・津波 危険補償（※1）		○	○				
新 熱中症 危険補償（※2）		○	○				

〈ご注意〉「24時間型」については、職種級別A（無職・事務職〈ケガリスクの低い職業〉等）の場合の保険金額となります。
職種級別B〈ケガリスクの高い職業〉については、下記をご参照ください。
（「活動型」に職種級別はありません。）
●職種級別Bに該当する主な職種
・「自動車運転者」、「建設作業員」、「農林業作業員」、「漁業作業員」、「採鉱・採石作業員」、「木・竹・草・つる製品製造作業員」（以上6職種）
・上記に該当する方は、保険金額が変更になります。
・詳しくは取扱代理店もしくは引受保険会社にお問い合わせください。

（注1）往復途上とは、自宅（マンション、アパートなどの集合住宅は専用部、戸建ては敷地を含む）を出てから、クラブ活動場所までの通常経路を指します。
（注2）後遺障害保険金は、クラブ活動中のケガに起因する場合のみが対象となります。後遺障害の程度に応じて、クラブ活動中の後遺障害保険金の4%～100%が支払われます。
（注3）手術保険金として、入院中は入院保険金日額の10倍、外来（入院中以外）は5倍がお支払対象となります。

賠 償 責 任 保 険 〈掛金・補償内容〉

他人の物を壊したり、ケガをさせた時の保険。自分のケガは対象になりません。

- ①対 象：老人クラブ（全員加入が条件となります）
②保 險 期 間：毎年10月から1年間
③掛 金：1人年額100円（最低引受保険料3,000円）
④補 償：支払限度額1億円



公益財団法人 全国老人クラブ連合会 保険係

〒100-8822 東京都千代田区霞が関3丁目6-14 三久ビル1階102号

受付時間 9:30から17:00まで（土、日、祝祭日、年末年始休）

加入申込書等、
資料請求先

専用FAX 03-3597-8767

お問い合わせ
ご相談

先 03-3597-8770

ホームページ <http://www.senior-ltd.com/> 検索 老人クラブ傷害保険 メールアドレス hoken@senior-ltd.com

〈取扱代理店〉有限会社 シニアサービス社 TEL.03-3597-8768
〈引受幹事保険会社〉東京海上日動火災保険株式会社（担当課）医療・福祉法人部 法人第二課 TEL.03-3515-4144

※この広告は、以下の商品についてご紹介したものです。

「老人クラブ傷害保険」
■活動型：老人クラブ団体傷害保険特約付帯傷害保険
■24時間型：総合生活保険（傷害補償）
「老人クラブ活動専用賠償責任保険（施設賠償責任保険・生産物賠償責任保険）」
ご加入にあたっては、必ず「パンフレット」「概要」「重要事項説明書」をよくお読みください。詳細は、ご契約者である団体の代表者にお渡ししてあります保険約款によりますが、ご不明な点がある場合には、代理店までお問い合わせください。

19-T00792 2019年5月作成 6



「晴ればれシニア岡山」 ホームページもご利用ください



岡山県老人クラブ連合会ではホームページも開設しています。
市町村老連の「活動紹介」のコーナーや
「県老連だより」のバックナンバーも見ることができます。
ぜひアクセスしてください。

URL **http://okaroren.info**

もしくは **晴ればれシニア岡山** で検索



県老連等の行事予定

令和元年	9月27日(金)	高齢者地域リーダー研修会 美作会場	湯郷地域交流センター
	10月4日(金)	高齢者地域リーダー研修会 倉敷会場	くらしき健康福祉プラザ
	10月10日(木)	令和元年度 岡山県総合社会福祉大会	岡山市民会館

令和元年度（第44次）岡山県老人福祉大学 9月からの日程

	岡山	倉敷①	倉敷②	津山	高梁
	市民文化ホール	くらしき健康福祉プラザ	津山市総合福祉会館	高梁文化交流館	
9月	26日(木)	19日(木)	※17日(火)	5日(木)	12日(木)
10月	31日(木)	29日(火)	17日(木)	2日(水)	28日(月)
11月	29日(金)	15日(金)	※15日(金)	8日(金)	20日(水)

※は午後の開催となります。（日程は講師の都合などにより変更することがあります。）

編集後記

平成26年度から5か年計画で取り組んできた2万5千人会員増強運動が平成30年度で終了しました。結果としては残念ながら会員増とはなりませんでした。この運動に取り組んでいなければ一体どうなっていたかを考えると、それなりの成果はあったのではないかと思います。活動を続けていく上で仲間づくりは必須のテーマですので、県老連では、引き続いて本年度から「単位クラブ1名純増運動」に取り組むこととしました。会員の皆様にはひとりでも多くの高齢者に加入の声掛けをお願いいたします。仲間を増やし楽しい老人クラブ活動を進めていきましょう。



老人クラブとは

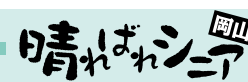
老人クラブは、おおむね60歳以上の高齢者が地域で自主的に参加しているクラブです。市町村の老人クラブを県老連でとりまとめています。高齢者の経験、知識を生かし、地域社会に貢献するとともに、生きがいと健康づくりのために相互に支え合うことを目的として運営されています。

岡山県

■会員数
141,557人

■クラブ数
2,563クラブ

（平成31年3月末現在）



（発行部数：50,000部）

発行：（公財）岡山県老人クラブ連合会
〒700-0807 岡山市北区南方2丁目13番1号
岡山県総合福祉・ボランティア・NPO会館
（きらめきプラザ内）
TEL (086) 226-2877 FAX (086) 226-2881

企画・印刷：昭和印刷株式会社
岡山市南区豊成3-1-27 TEL (086) 264-6110